


<p>『我等の生涯の最良の年』 原題 <i>The Best Years of Our Lives</i> 1946 年</p>	<p>執筆: 清水 純子</p>
<p>制作国</p>	<p>アメリカ</p>
<p>スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)</p>	<p>スタッフ: 監督 ウィリアム・ワイラー/ 脚本 ロバート・E・シャーウッド (英語版) / 製作 サミュエル・ゴールドウィン/音楽 ヒューゴー・フリードホーフ / 撮影 グレッグ・トーランド/ 編集ダニエル・マンデル/ キャスト: マーナ・ロイ: ミリー・ステイブソン/フレドリック・マーチ: アル・ステイブソン /ダナ・アンドリュース:フレッド・デリー/テレサ・ライト: ペギー・ステイブソン/ ヴァージニア・メイヨ :マリー・デリー/ キャシー・オドネル: ウィルマ・キャメロン/ ハロルド・ラッセル: ホーマー・パリッシュ/その他/</p>
<p>画像</p>	
<p>カラー・モノクロ</p>	<p>モノクロ</p>
<p>時間</p>	<p>172 分</p>
<p>ストーリー</p>	<p>フレッド、アル、ホーマーの軍用機で故郷ブーンに向かう 3 人の男たちのその後を帰還兵という立場から描く。銀行員だったアルは順調に復職し、帰還兵優遇政策によって昇進するが、ローンの貸付に関して同じ帰還兵への優遇をはかりすぎると注意される。戦争で両手を失ったホーマーは、周囲の好奇の目に耐えられず、婚約者キャシーに対しても心を閉ざすが、キャシーの障害者への理解を悟って結婚式に臨む。ソーダ売りだったフレッドは、政府から支給された金を使い果たし、職を転々とする。心の傷にうなされ、贅沢好きの金髪クラマーの妻マリーを満足させられず、離婚される。フレッドは、アルの娘ペギーと愛し合うようになるが、アルの反対で別れる。フレッドは廃棄される軍用機がマイホーム建築用に使われることを知って希望を見出し建築現場で働くことにする。花婿ホーマーの介添え役で式場に行ったフレッドは、ペギーと再会して、仲直りする。</p>
<p>時代設定</p>	<p>第二次世界大戦終了直後 1945 年</p>
<p>場所</p>	<p>ブーンシティ (オハイオ州シンシナティがモデルの架空の町)</p>
<p>社会背景</p>	<p>第二次世界大戦の戦勝国アメリカは、帰還兵を英雄視して表面的には優遇したが、それ以上に帰還兵自身が問題を抱えていた。戦場のトラウマと変化した意識から現実復帰できないストレスに苦しみ、周りの人々にも困惑を与えていた。</p>

文化的背景	帰還兵の抱える様々な問題が、戦場にならなかったアメリカ本国で待っていた人々との間に亀裂を引き起こし、社会問題になる。帰還兵の心身の傷および経済的社会的復帰の困難さ。
使用言語	英語
テーマ	第二次世界大戦の帰還兵をめぐる人間ドラマによって帰還兵の抱える問題点—失業、社会復帰、負傷と身体障害、家族関係、PTSD（心的外傷後ストレス障害 Post Traumatic Stress Disorder）、暴力）等—を指摘。
みどころ	大戦を戦ってきた兵士がこの戦争の背後関係や原爆投下やその他がもたらした破壊の結果にほとんど無知であることを暗に指摘、またこの戦争の意味に疑問を投げかける男を登場させ、その男がフレッドにぶちのめされる点に、アメリカ体制派への批判を巧妙に埋め込んでいる点がさすがである。戦争の英雄とされながらも現実復帰できず苦しむ帰還兵ととまどう周囲の人々の葛藤が上手に描かれている、
印象深いせりふ	Al: And here's a flag I found on a dead Jap soldier. All that writing is good luck messages from his relatives. Rob: Yes, I know. Al: The Japanese attach a lot of importance to their family relationship. Rob: Yeah. Yeah, entirely different from us. You were at Hiroshima, weren't you? Al: Mm-hm. Rob: Did you notice any of the effects of radioactivity on the people who survived? Al: No, I didn't. Should I have? Rob: We've been having lectures in atomic energy at school. Mr McLaglen, our physics teacher, he says that we've reached the point where the whole human race has either got to find a way to live together, or else...- Or else. Al: That's right. Or else. Rob: When you combine atomic energy with jet propulsion and radar and guided missiles, just think of the...Oh, you're just kidding me, Dad. You've been to all these places and you've seen everything. Al: I've seen nothing. I should have stayed home and found out what was really going on.
授業教材用 メリット	アメリカの第二次世界大戦参加の功罪を民衆の反感を受けないように巧みに問い、暗示している。
授業教材用 デメリット	上映時間が長すぎる。問題意識は高いが、戦勝国アメリカならではの楽観的結末。
映像入手元	ジュネス企画 / ファーストトレイディング/ARC/
原作の有無	マッキンレー・カンターの <i>Glory for Me</i>
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 96、観客 92）
キーワード	第二次世界大戦、帰還兵、負傷、身体障害者、失業、復帰、死、家族、結婚、戦争の功罪、日本、原爆、PTSD。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。